



さいがい そな
[災害への備え]

かぐ たお
家具が倒れないようにしておく

- ▶ かぐ てんとうぼうし きぐ と つけ
家具に転倒防止器具を取り付ける
- ▶ かぐ はいち みなお
家具の配置を見直す



家具が倒れないようにしておく

■ 状況シートの説明



▶ 場面ごとの説明

- ① みなとくとみさきちゃんの家です。みさきちゃんは、「このタンス、地震の時に倒れないかな」と心配しています。でも、みなとくんは、「重いから倒れたりしないよ」と、まったく気にしていません。
- ② 「じ、地震だ!」。家が大きく揺れました。
- ③ 地震が起こると、タンスや重い家具も簡単に倒れてしまいます。みなとくんのそばのタンスが倒れそうです。「お兄ちゃん、危ない!」。みさきちゃんが叫びました。倒れないと思っていた重いタンスが倒れてしまいました。驚いて腰が抜けてしまったみなとくんは、「〇〇〇〇〇」

▶ セリフの例 気持ち

「うそ」
 「だいじょうぶだと思ったのに」
 「危なかった」

▶ 発問例

- ・家具が倒れないようにするには、どうしたらいいですか？
- ・いつも寝ている近くに大きな家具がありますか？
- ・地震に備えて、家でどんなことをしていますか？

■ 教訓シートの説明



▶ 家具に転倒防止器具を取り付ける

- ・背の高い家具は倒れやすく、倒れた家具の下敷きになると大けがをします。
- ・食器棚やガラス戸棚が倒れると、割れたガラスでけがをします。
- ・家具転倒防止用のつっぱり棒や金具を取り付けましょう。

▶ 家具の配置を見直す

- ・寝ている時に地震が起きたら、すぐに身を守る行動がとれないかもしれません。
- ・いつも寝ている部屋は、背の低い家具にするか、家具が倒れてこないような配置を考えましょう。
- ・家具がドアの前に倒れると、ドアが開けられなくなって部屋に閉じ込められてしまいます。家具が倒れても出入口をふさがらないような配置にしましょう。

■ 東日本大震災の教訓

地震による大きな被害があった阪神・淡路大震災では、家具の下敷きとなったけが人や犠牲者が多く出ました。東日本大震災を経験した人から、「揺れている間、テレビを押さえなければならなかったので、液晶テレビを止める器具を買った」「突っ張り棒で家具が倒れないようにした」など、改めて家具の転倒防止策をとったと聞きました。